

平成29年度第3回亀岡市文化財保護委員会 会議録

1 日時 平成30年3月9日（金）午後1時30分～午後4時10分

2 場所 亀岡市役所 602・603会議室

3 出席委員

安藤	信策	委員
井本	伸廣	委員
鵜島	三壽	委員
加藤	美智恵	委員
川端	秀昭	委員
嵯峨根	彰	委員
豊田	知八	委員
永光	寛	委員
長谷川	澄夫	委員

4 欠席委員

深町	加津枝	委員
藤井	健三	委員
山下	ひろ子	委員

5 出席事務局職員

土井	社会教育課文化財係長
中澤	社会教育課文化財係主任
飛鳥井	社会教育課文化財係主事
渡部	社会教育課文化財係主事
八木	亀岡市文化資料館主幹

6 傍聴者 なし

7 議事の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ 永光会長
- (3) 報告・検討事項

議事

- ◆亀岡市内文化財の巡視活動報告について

○事務局より12月～1月の文化財巡視活動について説明した。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員：市指定文化財について、現状のまま放置すれば朽ちていく一方であり、地元と話をしていく中で方向性をたぐっていく必要がある。

委員：市指定文化財の現状変更について、劣化や内部の改装・改変について、教育委員会と協議が必要と考えられるものについては、現状変更になるのか所有者と協議する必要がある。

委員：子供たちが文化財の中で育つという意識づけがあれば、文化財保護意識の向上につながるのではないか。自分たちが過ごす空間が文化財の中であるということの子供たちが認識できるようになればいいのではないだろうか。

委員：巡視の際に所有者の方に現状をお伝えすることで、迅速に対応してもらえる可能性も高くなる。巡視というのは文化財保護の中で重要な仕事である。

委員：手当が早いときのほうが費用を低く抑えられるのは当然である。指定文化財について、どこが修繕費用を負担するのか、指定したなら行政が何らかの手当をしてくれるというような期待をしている所有者もいるだろう。文化財修繕について、予算措置はあるのか。

事務局：予算の枠内で指定または未指定文化財に対して国や府の補助金に随伴する形で補助を行っているところである。

委員：たとえばふるさと納税等、別の財源を確保しなくては難しいだろう。

委員：今後、新たに文化財指定を行っていく中で、たとえ指定したところでその文化財を守っていけるか、という問題がある。

◆亀岡市指定文化財候補について（亀山城惣構跡）

○事務局より、亀岡市指定文化財候補である亀山城惣構跡（宗福寺境内）について説明した。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員：明智光秀が普請したという「惣堀」と惣構とは別にして考えたほうがいいのではないか。

委員：少なくとも江戸時代は今と変わらない土塁の使い方に移行する。土地利用の変化を加味して、宗福寺の惣構の規模について検討する必要がある。

委員：学術的に調査を実施してもよいのではないか。

委員：絵図に記されている幅や高さの数字はあくまで参考でしかないため、規模の復元には慎重を要するだろう。

委員：今後の予定はどうなるのか。

事務局：次回の委員会までに調書をまとめて諮問を行いたいと考えている。次回の保護委員会については5月に実施を考えており、その際に報告したい。

委員：現地視察も必要ではないだろうか。次回の文化財保護委員会で実施を検討してほしい。

→次回の文化財保護委員会にて現地視察を実施し、諮問を行う方向で調整を行う。

◆今後の亀岡市指定文化財指定方針について

○事務局より、事務局の考える亀岡市指定文化財の方向性について説明した。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員：地域によって指定件数のばらつきがあるのは当然だが、種類によってもばらつきがあるように感じる。

委員：京都府レッドデータブックの中でも触れられているものが亀岡の中にもいくつかある。そういったものも含めて指定候補を検討してはどうか。

委員：緊急性という観点で指定候補リストに挙げる必要もあるのではないだろうか。

委員：指定文化財の公開や管理をどのようにしていくか、という点も考慮しながら指定候補を絞っていくべきである。

委員：道標、石灯籠が多いのも亀岡の特徴であると思う。城下町はあるが、どこが城下町のコアとなるものがない。お寺など城下町にふさわしいような年代のものを掘り下げ、グループで文化財指定していくのも面白いのではないだろうか。一つ一つの文化財に価値を見出すよりは、その地域の中にあって意味のあるもの、というのも考えられるのではないだろうか。鉾、道標、石灯籠、寺、神社など各要素を集め、小さい範囲で取り上げてみてもよいのではないだろうか。

委員：日本地質学会が125周年を迎えることを記念して、都道府県の石を決めるが、南丹砥石が石、桜石が鉱物でそれぞれ選定されている。南丹砥石が確認できるのは亀岡だけであり、亀岡の天然砥石は海外でも有名である。指定として考えてもraitたい部分もある。

8 閉会